

おたる 西別院だより

季刊 第99号



親鸞聖人750回大遠忌法要 本願寺

年末・年始のご案内

- 除夜会 12月31日(土)15時 本堂
- 除夜の鐘 12月31日(土)23時50分 鐘楼堂
- 元旦会 1月1日(日) 6時30分 本堂
- 宗祖聖人御祥月法要 1月15日(日)・16日(月)13時30分 本堂
- 新年交礼会 1月23日(月) ホール

12月29日(木)から1月6日(金)まで、月忌参詣をお休みさせていただきますので、どうぞお寺にお参りください。

年頭のご挨拶



小樽別院 輪番 渡邊 信あきら

新春にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。また有縁のみなさまにおかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

二〇一一（平成二二）年を顧みるに、昨年は激動の一年でありました。三月十一日には未曾有の災害をもたらした東日本大震災があり、日本あるいは世界規模での自然災害や原発事故、暗い世相に拍車をかけるものでした。

それは無縁社会と言われるこの時代に大きな問いをもたらしたと思うのであります。しかしながらその中であって「世の中安穏なれ」のスローガンを掲げ、本願寺で厳修され

ている親鸞聖人七百五十回大遠忌法要は大きな意味を持っていました。

ご門主様のお言葉をお借りするのであれば「世の中が安穏であってほしいというのは、ほとんどの人の願いであります。しかし、願っているだけでは、世の中は安穏になりません。」

一昨年前の大谷本廟での大遠忌法要におけるお言葉にあらためて思いを馳せる日々でありました。

小樽別院からの団体参拝は当初の予定どおり三班とも無事成功を修め、初めて参加してくださいました。

一月はご正当、ご法要の円成を願うとともに、尊いご勝縁にお念仏申させていたたく身の慶びをかみしめ、再度ご本山へ参ります。

親鸞聖人が信じ歩まれたお念仏の道を、別院から、あるいは三園から、微力ながらも無力ではないと信じ、職員一丸となりみなさまとともに歩んでいきたいと思っております。

合掌

年忌表

二〇一二年（平成二十四年）

一周忌	—	平成二十三年
三回忌	—	平成二十二年
七回忌	—	平成十八年
十三回忌	—	平成十一年
十七回忌	—	平成八年
二十三回忌	—	平成二年
二十五回忌	—	昭和六十三年
二十七回忌	—	昭和六十一年
三十三回忌	—	昭和五十五年
五十回忌	—	昭和三十八年

年回忌法要についてのお願い

- 法要をご予定の際には、日取りを事前に別院とご相談の上、お決めください。
- 別院にて年忌法要をおつとめされる場合は、仏間の使用冥加金（一万円）を申し受けます。

尚、ご希望の日時に添えない場合もございませぬので、あらかじめご了承願います。

11月10日～13日 最後の団体参拝に行っていました

京都 本願寺～山科別院

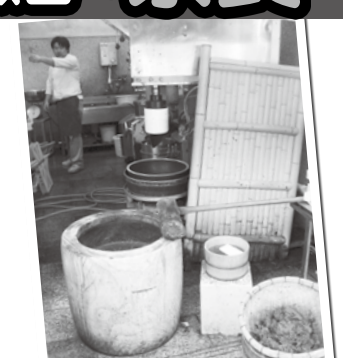


参加者の声

とにかくご本山は全国各地からの参拝者でいっぱい。写真からでは想像できない規模のご法要に感激しました。
今まで訪れた京都よりも活気づいていましたし、お寺の旅行じゃないと立ち寄れない場所にも参拝できてよかったです。

参加者の声

京都とはまた違う古き良き時代の日本の姿を見ることができました。宿に早く着いたおかげでゆっくり休めましたし、お土産もたくさん買えました(笑)



このたびの旅行を企画してくださった日本旅行 小樽支店様、
ご参加のみなさまありがとうございました。

ご門徒さん
を訪ねて

第12回

黒川昭和さんご夫妻 100号にむけてー

「あれ？もうそろそろ百号じゃない？」
半年ほど前、ある日の編集会議でこ
んな話題ががありました。

「何か企画しましょう」「何をしようか？」
「そもそも創刊号ってどんなのだっけ？」
「というか第〇号って明記したの八十号
くらいからですよ」「古い別院だよりの一部
が行方不明だ」「それじゃどうにもならな
いね」

と話が転がり、考えあぐねて数ヶ月。
「たしか、緑町の黒川さんが全部保管
していらつしやるはず、一度見せてもらっ
た記憶があります」「じゃあお願いして見
せてもらおう、そして何か話を伺ってき
ましょう」ということで別院の記録と照合
しながら、お話をきかせていただくこと
になりました…。



祖父から譲り受けたお経本



キッチンと整理されている
ファイル。

て見せてくださったのが上のファイル。
保存状況もよく近年の分はもちろん別院
からのチラシから常照まで、綺麗に整理
されていました。

もともと別院の仏教青年会に入って活
動されていたので昔から別院にはなじみ
があつたようです。遡ること五十年前の
親鸞聖人七百回大遠忌の際は、前ご門主
にもお会いしてねぎらいの言葉も頂いた
そうです。そして今も長男が五十歳になつ
たそうで、いやはや歳月の重さと早さに
驚くばかりです。

そして大事そうに抱えて持ってきてく
ださつた経本は欄外にたくさんのお味わ
いやご文にラインが…。

「これは私が生まれた年のお経本なん
ですよ、祖父の書き込みを見ると嬉しく
て大事にしています。私も東京に住む孫の
ために経本を贈りました。仏壇のない家
で育っているのに、うちに来たらみんな
キッチンとお参りしてくれるんですよ。念
珠を配る子、お灯明をつける子、それぞ
れが楽しそうに役割分担をしてくれてる
んです。こちらから一度だつて仏壇にむ
かうように言い聞かせたことはないん
ですけどね。本当に嬉しいです。」

取材を終えて

親鸞聖人の書物の言葉が次から次
へとさらっと出てきては、かみしめる
ように味わう姿が印象的でした。祖父
から受け継いだ経本は宝だと仰るかと
思えば、子どもに勧められて購入した
iPad(←最新のパソコンみたいなもの)
も使いこなす姿にビックリ。
週に数回はフィットネスで体も動かして
いると聞き、人生を謳歌するってこ
うなことなのかなあとしみじみ感じ
ました。(森)



仲睦まじいご夫婦

「別院だよりの話を伺う予定だったのが、
なんだか会話が弾んできて、誌面の残り
がわずかになってしまいました。
この続きは次号でご紹介させていただ
きたいと思います。」

製造直売の店

仏壇・仏具・お宮・神具

片桐仏壇店

小樽市入舟4丁目5番入舟大通り
TEL (0134) 23-1309 (代)

株式会社 日本旅行北海道小樽市店

〒047-0032 小樽市稲穂2-22-4 樽石ビル1F

TEL 0134-33-4455 FAX 0134-33-4465

お得な旅情報 <http://www.nta.co.jp/hokkaido/>

営業時間 平日9:45~18:00(土・日・祝日:休業)



双葉高校・中学参拝



10月11日

高校生も中学生も春の降誕会に比べると別院でのお参りに慣れた様子

三園(小樽幼稚園・新光保育園・若竹保育所)合同参拝



10月13日

三園の園児も静かに話しを聞いて、大きな声で讃歌を歌って、みんな大変よくできました。

10月13日～16日

小樽別院



報恩講に向けて、内も外も綺麗に清掃。ありがとうございました。



布教にも熱が入る



貸出用の経本を持って
みんなでおつとめ



少年少女合唱団との共演。ご参拝のみなさまからも感動の声！！



後志・留萌の寺院のご法中もご出勤くださって、法要は賑々しく勤まります



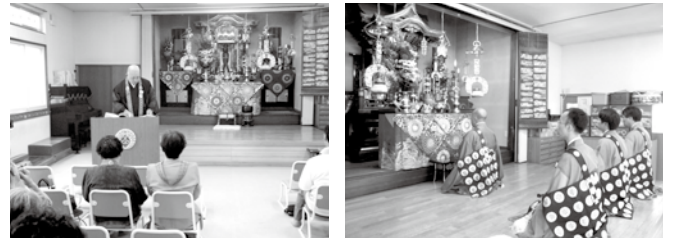
報恩講に向けて飾られた内陣。一番大事な法要だから、一番立派に荘厳させていただきます。



婦人会のみなさんも朝から晩まで大忙し！

報 恩 講 写 真

若竹説教所彰心会報恩講



9月4日

9月に入ってすぐの報恩講。
お盆気分も吹き飛ばす、大きな声で正信偈

新光説教所法友会報恩講



10月21・22日

別院の報恩講が終わって直後
疲れがぬけない中、だからこそ余計に力が入る

奥沢説教所樹心会・唯信講報恩講



11月2・3日

今年は寒気とは程遠い、穏やかな気候の中。
お疲れ様の声が料理をよりおいしくする

今、被災地では…

宗派では今でも東日本大震災の復興のため被災地に職員が派遣され、瓦礫の撤去作業や慰問にあたっています。

十一月十八日からは、後志管内のお寺が仏教壮年会でツアーをくみ、炊きだしボランティアを企画し、現地を訪れ一日も早い復興のため、ご尽力くださっています。この様子は次号で改めてご紹介させていただきます。

また、去る二〇〇八年六月に起こった岩手・宮城内陸地震の慰霊碑が十一月九日、宮城県に建立されました。

この地震の被害に遭われたご遺族の方から故人を偲び法名をつけて、追悼法要を小樽の自宅で勤めて欲しいとご相談をいただき勤めさせていただきました。

今でも国内外の災害の状況が把握できない現状の中ではありますが、私たちに協力できることがあればと考えておりますので、どんなささいな事でもご相談ください。

小樽別院からのお願い

小樽別院に登録されている代表者の方の連絡先が不明になっているご家庭が増えてきております。

左記の場合には必要書類にご記入いただきご提出をお願いしておりますので必ずお寺までお申し出ください。よろしくお願いいたします。

- ①代表者または納骨堂管理者の転居
- ②代表者または納骨堂管理者が変更になる場合

※ご印鑑や印鑑登録証明・戸籍謄本、ご本人の署名が必要となる場合がございます。ご了承ください。ご了承ください。ご連絡いただきますようお願い申し上げます。

尚、お盆・お彼岸等別院行事のある場合は、ご希望の日時での納骨やご法事等お受けできない場合がございますので、こちらも事前に別院に日程や時間をご相談ください。

お問い合わせは

電話 〇三四（二二）〇七四四

FAX 〇三四（二九）四〇八〇

小樽別院寺務所まで

別院門徒物故者

（平成二十三年十月末日現在）

3分間の心のともしび 小樽別院

テレホン法話

24時間いつでもどうぞ
TEL 27-1616

●テレホン法話担当表

1/ 1(日)～15(日)	輪 番
1/16(月)～31(火)	村 田
2/ 1(水)～15(水)	森
2/16(木)～29(木)	山 邊
3/ 1(木)～15(木)	門 上
3/16(金)～31(土)	西 川

編集後記

温かい秋が続いてよかったと喜んでいたのも束の間、今年の降雪はどうなるのだろうかという話題があちこちから聞こえてきます。

さて今回は、親鸞聖人七百五十回大遠忌法要の本山の写真が表紙を飾る、新春らしい号になったと思います。

また次で第百号となる別院だより。より良いものとなるように、みなさまからのご意見ご感想をお待ちしております。

連絡先

本願寺小樽別院

小樽市若松1丁目4番17号 ☎0134-29-4080

☎0134-22-0744

編集委員

門徒委員	別院担当者
福川ヨシ子	森 敬信
平田 晴己	山邊 出
宮本 和枝	門上 誓淳
竹澤 知恭	

新光保育園職員



園長	川口美由紀	臨時保育士	日向寺冬美
主任保育士	小田桐景子	臨時保育士	西谷悠花
保育士	関谷育子	臨時保育士	笈川亜妃
保育士	栗原恭子	臨時保育士	岩根有紀
保育士	若杉倫子	臨時保育士	川口まゆ
保育士	下山由果	臨時保育士	齋藤美菜子
保育士	知本美保	臨時保育士	小林由貴子
臨時保育士	鈴木雅恵	臨時保育士	小笠原典子
臨時保育士	佐々木麻美	臨時保育士	柿澤里和
臨時保育士	安川香美	臨時保育士	長南文子
臨時保育士	本多あゆみ	臨時保育士	貴正聖子
臨時保育士	山田朋果	臨時保育士	

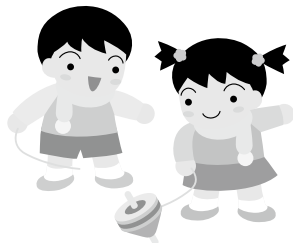
小樽別院職員



輪番	渡邊信	責任役員	杉本守巧
副輪番	西川達恵	総代	宮本英子
参勤	岡崎昌磨	総代	福島正紘
参勤	磯村真一	総代	荒田一正
参勤	村田法道	総代	岩山一豊
参勤	温井卓生	総代	北川一
参勤	森敬信	別院総代	猪田格一
参勤	山邊出	顧問	小紙文隆
承仕	門上誓淳	仏教青年会会長	辻井聡克
事務員	下田麻実	仏教婦人会会長	杉本美穂子
事務員	海藤真己子	仏教青年会会長	藤井亜季
調理師	本郷昶子		
用務員	森合幸子		

若竹保育所職員

所長	青柳順子	バス運撃	宇都宮栄治
主任保育士	金澤久世	バス運撃	伊藤光行
保育士	義川潔美	教諭	佐藤若菜
保育士	北嶋里江	教諭	市川容子
保育士	中田美津江	教諭	星野夏未
栄養士	藤田美樹	教諭	本間一恵
臨時保育助手	吉田悠里	副主任	本間美樹
臨時保育助手	高畑沙織	主任	藤井亜季
臨時保育補助	西岡恋子	副園長	西川達恵
用務員	田中敬子	園長	渡邊信



小樽幼稚園職員

バス運撃	山下隆宜	バス運撃	宇都宮栄治
用務員	真鍋智子	バス運撃	伊藤光行
臨時教諭	川上尚美	教諭	佐藤若菜
臨時教諭	渡部綾子	教諭	市川容子
臨時教諭		教諭	星野夏未
臨時教諭		副主任	本間一恵
臨時教諭		主任	藤井亜季
臨時教諭		副園長	西川達恵
臨時教諭		園長	渡邊信



謹賀新年

本願寺小樽別院

みんな仲良し
小樽幼稚園

～まこと(いのち)の保育を行っています～

いも掘りに
 行きました



消防署見学に
 行きました



当園では、浄土真宗のみ教えに基づき「いのちの大切さ」「自然への感謝」「やさしい心」を育てる保育に努めています。

又、お絵かきや工作などのクラスでの活動の他に、プール遊びや、週に2・3回クラス合同のホールでのリズム遊びなどを通し、異年齢の交流を深めており、年長から年少までみんな仲良く遊んでいます。

是非一度見学にお越しください。(年中見学可能です。事前にお電話でご連絡ください。)

- ☆**保育時間**→月曜日～金曜日(8:00～14:00/冬期間(12月～3月) 8:00～13:30)
- ☆**昼食**→お弁当～週2回/給食～週3回(パン食2回/米食1回)
- ☆**預り保育**→月曜日～金曜日(17:30迄)行います。(15:30迄は無料です/降園バス有/夏休み・冬休み(8:30～17:00))
- ☆**プール遊び**→年間を通して、温水プール遊びを行っています。(年長のみプール指導有)
- ☆**英会話**→月2回年長のみ行います。
- ☆**体操教室**→月1回年長・年中・年少に分かれて行います。
- ☆**送迎バス**→ご希望の方は、ご自宅付近まで送迎致します。
- ☆**主な行事**→花まつり・降誕会・運動会・親子遠足・バス遠足・いも掘り・報恩講・お遊戯会・おもちゃつきなど。
- ☆**ならし保育**→満2歳以上、就園未満のお子さんを対象に、毎週火曜日・木曜日に保育を行います。

その他の日も見学できますので事前にお電話でご連絡下さい。

※詳しくは、入園案内をごらんください。

園児募集中

満3歳児 若干名
 3歳児 30名/4歳児 30名/5歳児 10名

詳しくはお電話でお問い合わせ下さい。

学校法人 小樽龍谷学園

小樽市若松1丁目4番17号

小樽幼稚園 TEL/FAX **0134-22-6536**

